

SUMMARY

No040120 ³

マシンプラスではなく
最大outflowに対する
inflowです。

以前学習・経験したことが
土台になっています。

皆さんが「これまで身につけた Number Operation の応用と派生」が「これからの Number Operation」です。VC(=Value-Chain)の数字を読みそこからハンドを組み立てることに集中してみてください。Inflow/Outflow は「リスクと報酬の関係」に相当します。そのバランスが整っていれば今後何があっても大丈夫なだけでなく inflow(=収益)を着実に蓄積し増やしていけます。

VC はマネーが製造されているファクトリー(“工場”)です。そして、それは仮想現実の「情報空間」です。無限の可能性があり、そこからマネーを取り出す作業(仕事、事業)が Number Operation であり、それは、ある意味、IT(Information & Technology)です。

VCの仕組みを深く
理解し、数字を観察に
下す

より本格的な Number Operation に進んでいきます。
「本格的な」とは“full-fledged”(=“completely developed”; 「十分に羽ののびた」という意味です。扱う数字の量は圧倒的に多くなります。今回の RSC を契機により本格的に VC 中心の Number Operation に取り組んでいただければと思います。そして、その背景にマトリックスの数値/数値構造があることを片時も忘れないでください。これまで学習し経験したことや積み上げた実績は今後の Number Operation において「後方支援」として役に立ちます。マトリックスの数値/数値構造が VC の数字の中で生きているからです。

Number Operation は数値上まだしばらく不安定な状況(状態)が続くだろうと感じられます。そのような状況下においても収益機会が多くみられます。自信を持って、ただし、無理せずにゆっくり進んでください。

今週号の2つのレポート(no040120 及び no040220)のポイントを掲げます。

VC(=Value-Chain)が中心になります。

Number Operation の
数字に言及している。

no032320~no032620 のレポートを時間のある時に読み返してください。

マトリックスの数値/数値構造の変化の性質、数値の循環性/連続性、「すべては N になる」の基本的な原理を理解しているということを前提に進んでいきます。

VC の6個のテーブルの中に含まれた数字はすべて相互に関連しています。また、それらの数字はマトリックスの数値/数値構造と関係しています。

マトリックスのテーブルはもはや掲げません。

マトリックスは皆さん各自作成して記録しファイルしてください。

VC のテーブルに含まれた数字と記号だけでハンドを組み立てます。

今後、Number Operation といえば、第一義的に、「VC の数字と記号を利用したハンドの組み立てと操作によって収益を上げる事業」と理解してください。そして、その背景にマトリックスの数値/数値構造があることを片時も忘れないでください。

